

【公共交通に係る指標】

■公共交通の利便性や持続可能性を評価するため、公共交通の運行状況及び利用状況を把握する指標を設定します。

評価指標	基準値	目標値 令和 28 (2046) 年
市内 4 駅（常山、八浜、備前田井、宇野）の合計乗降客数	4,810 人/日 (令和 6 (2024) 年)	基準値以上
市内 4 駅（常山、八浜、備前田井、宇野）の運行本数（平日、片道）	25 便/日 (令和 8 (2026) 年)	基準値以上
路線バス（路線名：岡山駅～築港新町・田井・宇野駅～渋川）の 1 日当たり利用者数	575.1 人/日 (令和 4 (2022) 年)	基準値以上
居住誘導区域内の主要バス停（宇野駅前バス停、市役所前バス停、田井バス停）の路線バス運行本数（平日、片道）	宇野駅前：50 便/日 市役所前：38 便/日 田井：46 便/日 (令和 7 (2025) 年)	いずれも 25 便/日以上*

※宇野駅前バス停から岡山駅まで、市役所前バス停及び田井バス停から宇野駅までの便数

※居住誘導区域は、運行本数（片道）おおむね 25 本/日以上路線バス停を含む鉄道駅から半径 800m 圏を設定根拠の一つとしています。

【算定方法】

- ・両備バス時刻表、J R 西日本時刻表
- ・国土数値情報（駅別乗降客数）、都市計画基礎調査（C0604 バスの状況）から算出

2) 間接指標

目標達成により期待される効果を把握するため、間接指標を設定します。

【地価に係る指標】

■集約型都市構造の形成による効果を行政運営の観点から把握するため、都市づくりに必要な投資余力の維持状況を確認する指標として、市街地の地価を設定します。

評価指標	基準値 令和 8 (2026) 年	目標値 令和 28 (2046) 年
市街地の地価（商業地）	61,500 円/㎡	61,500 円/㎡
市街地の地価（住宅地）	47,500 円/㎡	47,500 円/㎡

※市街地の低密度化や地価下落が懸念される中で、集約型都市構造の形成により、市街地の地価を現況水準で維持することを目標とします。

【算定方法】

- ・国土交通省 地価公示（商業地は玉野 5-2 の数値、住宅地は玉野-2 の数値）の数値